

築川にダムは必要か？

岩手県は築川に高さ 80 メートル巾 300 メートル総工費 670 億円のダム建設を予定しています。

岩手県の主張

- 治水のため 100 年に一回程度の雨が降っても洪水にならないため
- 利水のため 盛岡市の水道水と花巻の灌漑用水のため
- 環境のため 河川を守るため



ダムにたよらない治水を

過去にほとんど大規模な洪水は経験していません。先日の台風は安全基準内のできごと。基準通りに整備されていなかったことが原因でした。それに2日間 210 ミリ以上の雨が降った場合は、築川にダムがあったとしても下流は洪水に見舞われてしまいます。

ですから、危険な所には住宅を建てない、盛り土をしてから建てるようにしながら河川改修をすることで大きな被害から守ることができます(工事費用も安くすむ)。それと同時に田畑や被害を受けた人達には、損害保障するようにすべきです。

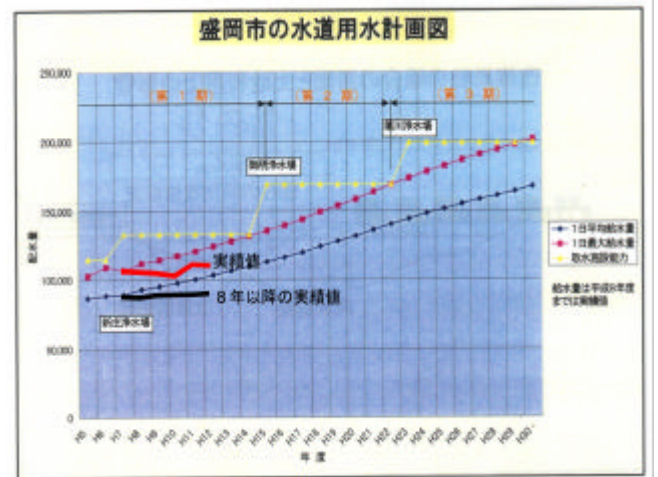
20 世紀土木技術の進歩で治水は大きく進歩しました。そして私たちは、「人類は自然をコントロールできない」ことを学びました。川に水を無理矢理閉じこめようとして、ダムを作っても洪水をなくすことはできませんでした。むしろダム建設は、環境破壊と大規模な洪水被害の危険性(川のすぐそばまで宅地化を進めたため)しか生み出しませんでした。その反省から今はダムに頼らない治水に変わりつつあります。

水道水は足りないのか

盛岡市は御所湖の水道水を確保していますが、当分水不足の心配がないため、取水施設の建設を延期しています。ですから「築川ダムの水を使うといっても 60 年後」(盛岡市)。それも人口が毎年 1400 人ずつ増えづけることが前提になっています。

しかしこの間、人口は逆に減っており、盛岡市の水不足になる可能性はありません。花巻の灌漑のために北上川に流した水を使う予定でしたが、減反で、築川ダムが必要と言えなくなりました。

東北電力も電気が余っていると買電には消極的です。



環境のため？

ダム建設予定地には、内陸では珍しいケヤキ群や貴重な植物がたくさんあります。昔トンボや東北サンショウウオ、さくらます、クマタカ等も見られ、シーズンにはたくさんの人々が釣りやきのこ取りに訪れます。ダムができれば、落合い橋周辺のきれいな溪流は水没し、川が遮断されることによる生物への深刻な影響が心配されます。

(発行責任盛岡市議いせ志穂 tel 019-645-8510 <http://www.nnet.ne.jp/~ise/>)